

SDGs地域課題解決ソーシャルビジネス事業2022

「MUSUBUスクール宮若」 の実現に向けた社会実装事業 活動報告

2023/2/24

地域政策デザインスクール 宮若市チーム



Region Policy
Design *School*

事業の背景・・・地域政策デザインスクール 宮若市チームの政策提言

- 宮若市は**小学校に入る前の子供をもつ世帯の隣接自治体への転出が顕著**であり、このままだと**まちの活気が減少、持続可能性が懸念**
- 子育て世帯にとっては、**子供の新たな学びの選択肢が少ない、学習塾が少ない、保護者の送迎負担が大きいことが課題**
→交通機関が脆弱な上、学校統廃合で通学距離が増加し、通学時などの送迎負担増加（学習塾は隣接自治体へ通う生徒多数）
- この課題を総合的に解決するため、**①放課後の学校を活用し、②多様な学びの場を提供する「MUSUBUスクール宮若」事業を立上げ**

<本事業の目的>

- 1)子供の選択肢・将来の可能性を広げる**
- 2)将来的には保護者の自由な時間を生み出す**



「MUSUBUスクール宮若」のポイント・・・子供が主役の放課後改革

1

放課後の学校活用

- 子供・保護者にとって、最適な環境を提供

2

充実した教育コンテンツ

- 地元企業の協力により、新たな学びの実践や学力向上を支援

3

子供教室と学童(児童クラブ)の統合

- 「学び」と「遊び」を融合し、放課後をより魅力のある場へ

地元企業との連携

SDGs



AI



プログラミング



学力向上



「MUSUBUスクール宮若」の実現に向けた進め方

- 様々な課題はあるが、スモールスタートから始めてみる事が重要
- 住民や運営側の関係者を少しずつ巻き込み、社会的受容性を醸成していくことで、目標達成を目指す



より一層充実したサービス

内容的、時間的質の向上

宮若市に合った形でルールを作り、関係者を巻き込む。
そして、徐々に政策を成長させていく。

ルールメイキング

センスメイキング

まずはスモールスタートから始めてみる。

コンテンツの充実

効果の検証

STEP1

STEP2

STEP3

2023

2025

2030

2022年度事業の概要（社会実装）

- ◆ 2022年度はスモールスタートとして、**モデル校で英進館(株)による**
①学力向上指導（算数・数学）、②キャリア教育 を実施
 - ・モデル校は、宮田南小学校、宮田北小学校、宮若東中学校の3校
 - ・小5：29名、中2：55名 計84名が応募
- ◆ **10/5～2/22 の間、月2～3回、小学生は(火)、中学生は(水)の放課後に1時間/回、計12回の補充学習を実施**
(10回は①学力向上指導、2回は②キャリア教育)
- ◆ 運営は以下3者で実施
 - ・宮若市
 - ・宮若市教育委員会
 - ・**地域政策デザインスクール**
 - 宮若市チーム**
- ◆ 2022年度の事業費は、全て「SDGs 地域課題解決ソーシャルビジネス事業 2022」の助成金を活用

わかるようになれば
もっと、もっと、もっと
楽しい!

宮若市 × 英進館
MUSUBUスクールみやわか開校

九州トップクラスの確かな実績を持つ学習塾「英進館」
そのトップレベルの指導が宮若市の学校で実現します

【運営】宮若市・宮若市教育委員会
九州大学地域政策デザインスクール

2022年度事業の概要（社会実装）／カリキュラム

2022年度 宮若市 中2 放課後補充学習日程&カリキュラム予定表

※カリキュラム・授業内容は、若干変更になる場合がございます。

英進館

対象		時間 16:30～17:30				
月	日	曜	回数	各種テスト ※計算問題含む	授業A ※ステージ☆中心	テスト範囲
10月	5日	水	第1回	●方程式復習プリント (10分)	◎方程式復習プリントの解説 ●連立方程式、加減法 ●連立方程式、代入法	方程式の計算
	12日	水	第2回	●第1回の内容確認テスト (7分)	◎確認テストの解説 ●かっこをふくむ連立方程式 ●分数や小数をふくむ連立方程式 ●連立方程式の利用、個数・人数 ●連立方程式の利用、代金	連立方程式、加減法、代入法
	19日	水	第3回	●第2回の内容確認テスト (7分)	◎確認テストの解説 ●連立方程式の利用、数 ●連立方程式の利用、速さ ●連立方程式の利用、割合	第2回の内容
11月	2日	水	第4回	●連立方程式まとめテスト (20分)	◎まとめテストの解説 ●比例・反比例の復習	第1～3回の内容
	9日	水	第5回	●第4回の内容確認テスト (7分)	◎確認テストの解説 ●一次関数、傾きと切片 ●一次関数、グラフのかき方 ●一次関数、変域	比例・反比例
	30日	水	第6回	●第5回の内容確認テスト (7分)	キャリア教育 「未来設計図」作成	第5回の内容
1月	11日	水	第7回	●第6回の内容確認テスト (7分)	◎確認テストの解説 ●一次関数、一次関数の求め方 ●一次関数、方程式のグラフ ●一次関数、連立方程式の解とグラフの交点 ●一次関数、2直線の交点の座標の求め方	第6回の内容
	18日	水	第8回	●第7回の内容確認テスト (7分)	◎確認テストの解説 ●一次関数の利用	第7回の内容
	25日	水	第9回	●一次関数まとめテスト (20分)	◎まとめテストの解説 ●対頂角・同位角・錯角 ●平行線と同位角・錯角 ●多角形の内角の和	第4～8回の内容
2月	1日	水	第10回	●第9回の内容確認テスト (7分)	◎確認テストの解説 ●三角形の合同条件 ●三角形の合同の証明	角度
	8日	水	第11回	●第10回の内容確認テスト (7分)	◎確認テストの解説 ●二等辺三角形、正三角形 ●直角三角形	第10回の内容
	22日	水	第12回	●総まとめテスト	キャリア教育 「未来エッセイ」作成	第1～11回の内容

2022年度 宮若市 小5 放課後補充学習日程&カリキュラム予定表

※カリキュラム・授業内容は、若干変更になる場合がございます。

英進館

		宮田北小: 15:20～16:20			宮田南小: 16:00～17:00			
期	月	日	曜	回数	各種テスト ※計算問題含む	授業A ※ステージ☆中心	授業B パズル/思考型	テスト範囲
第I期	10月	11日	火	第1回	I-① ◎実力確認テスト	◎実力確認テストの解説 ●前半年までの復習	●パズル問題	※前半年までの内容を中心に出題
		18日	火	第2回	I-② ◎確認テスト	◎確認テストの解説 ●三角形の角	●パズル問題	※「確認テスト」は前回の復習 確認問題を中心に出題
	11月	8日	火	第3回	I-③ ◎確認テスト	◎確認テストの解説 ●小数のかけ算・わり算	●パズル問題	※「確認テスト」は前回の復習 確認問題を中心に出題
		15日	火	第4回	I-④ ◎確認テスト	◎確認テストの解説 ●三角形の面積	●パズル問題	※「確認テスト」は前回の復習 確認問題を中心に出題
		22日	火	第5回	I-⑤ ◎確認テスト	◎確認テストの解説 ●いろいろな四角形	●パズル問題	※「確認テスト」は前回の復習 確認問題を中心に出題
		29日	火	第6回	I-⑥ ◎第I期 まとめテスト	キャリア教育 「未来設計図」作成	●パズル問題	※「まとめテスト」は第2回～第5回 の確認問題を中心に出題
第II期	12月	6日	火	第7回	II-① ◎確認テスト	◎確認テストの解説 ●約数と公約数	●パズル問題	※「確認テスト」はまとめテストの 復習
		17日	火	第8回	II-② ◎確認テスト	◎確認テストの解説 ●倍数と公倍数	●パズル問題	※「確認テスト」は前回の復習 確認問題を中心に出題
	1月	24日	火	第9回	II-③ ◎確認テスト	◎確認テストの解説 ●分数のたし算・ひき算	●パズル問題	※「確認テスト」は前回の復習 確認問題を中心に出題
		7日	火	第10回	II-④ ◎確認テスト	◎確認テストの解説 ●立方体と直方体の体積	●パズル問題	※「確認テスト」は前回の復習 確認問題を中心に出題
		14日	火	第11回	II-⑤ ◎確認テスト	◎確認テストの解説 ●割合	●パズル問題	※「確認テスト」は前回の復習 確認問題を中心に出題
		21日	火	第12回	II-⑥ ◎第II期 まとめテスト	キャリア教育 「未来エッセイ」作成	●パズル問題	※「まとめテスト」は第7回～第 11回の確認問題を中心に出題

**小学生・中学生共に、
全12回のうち6・12回目で
「キャリア教育」を実施**

①学力向上指導（中学生）



- 55名を2クラスに分けて指導
(60分/回×9回)
→降雪のため、1回中止<1/25>

- **毎回、「確認テスト」を実施、その結果に応じてクラスを再編成し、レベルに応じた指導**
(担当教員2名は固定)

- 教材は全て英進館が準備

【受講者（生徒）の声】

- 教え方が上手く、分かり易い
- 1時間、集中して取り組めた
- 「確認テスト」の問題数が多くて大変
(初回は10分で22問)
- 自宅で復習したい

①学力向上指導（小学生）



・北小10名、南小19名でクラスを編成
(60分/回×9回)

→降雪のため、1回中止<1/24>

・**毎回、「確認テスト」を実施**
(担当教員2名は固定)

・教材は全て英進館が準備

【受講者（生徒）の声】

・とても分かり易い

・算数は難しいが、少しコツが分かった

・1時間はあっという間だった



②キャリア教育（中学生）



- 55名を2クラスに分けて指導（60分/回×2回）
- 1回目に「未来設計図」を用いて、自身の感情と経験を振り返り（自己肯定感を引き出す）
- 2回目に「未来エッセイ」を用いて、将来の夢やその理由を言語化
- 教材は全て英進館が準備

【受講者（生徒）の声】

- 進路を考える上で参考になった
- 自分が唯一無二の存在だと知り、夢も人と違っていいことを学んだ
- 社会で役に立てる人になりたい

②キャリア教育（小学生）


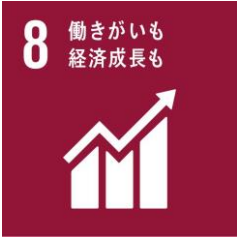




- 北小10名、南小19名でクラスを編成（60分/回×2回）
- 1回目に「未来設計図」を用いて、自身の感情と経験を振り返り（自己肯定感を引き出す）
- 2回目に「未来エッセイ」を用いて、将来の夢やその理由を言語化
- 教材は全て英進館が準備

【受講者（生徒）の声】

- 自分の夢を考えるのは楽しかった
- 普段、自分がどういうことが好きか、将来のこと等を考えたりしないので、とてもいい機会だった
- 夢の実現のためにも勉強を頑張りたい

SDGsと本事業の関係

SDGs項目	本事業との関係
 <p>4 質の高い教育を みんなに</p>	地元企業と連携し、多様な新たな学びの機会を提供
 <p>8 働きがいも 経済成長も</p>	(将来的には) 保護者送迎負担を減らして自分時間を確保し、新たな就労機会を創出
 <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>	持続可能な子育てしやすいまちづくり
 <p>17 パートナーシップで 目標を達成しよう</p>	地元企業との連携を含む産学官民連携での取組み (英進館 + トヨタ自動車九州、トライアル、イーケイジャパン)

Miyawaka Watching + プラス



いつもの教室で有名塾の授業を

▶ 民間学習塾・英進館による放課後授業
「MUSUBUスクールみやわか」がスタート

10月5日、市内の小中学校で民間学習塾・英進館による放課後授業「MUSUBUスクールみやわか」がスタートしました。

この授業は、『産学官連携による多様な教育コンテンツの提供により、将来にわたって、魅力ある、持続可能な宮若市を構築する』をコンセプトとする九州大学産学官連携セミナー・地域政策デザインスクール宮若市チームから支援・提案を受けて実現したものです。子育て世帯の転出が進む市の課題を解決するために、その世代のニーズが高い子どもたちの学力向上への取り組みを強化しようと、中学2年生と小学5年生を対象に実施することになりました。

授業のテーマは、子どもたちがわかる楽しさを知ること。英進館の宮園雅樹取締役は、「少し難解な問題も、こう解けばいいんだとわかることで勉強の楽しさを感じ、学ぶ事へのモチベーションを高めてもらえる授業にしたいです」と、新たな取り組みの可能性への期待感を語ります。

今後は、学力にあった授業が展開され、全12回の中にはキャリア教育も組み込まれます。



地域政策デザインスクールの案が採用され 実施費用が全額補助されています

地域政策デザインスクール宮若市チームは、約半年かけて宮若市における課題、その解決へ向けた方策などの検討を進めてきました。

宮若市チームの事業案が一般社団法人九州オープンイノベーションセンター主催事業に採用されたことで、授業にかかる教材費や講師深慮費などの費用が全額補助されています。地域デザインスクールの皆さんは、「この事業の評判が広がり、将来的には市内企業も巻き込んだ幅広い事業展開ができるようになればいいですね」と、将来的な事業継続と発展に期待を込めました。

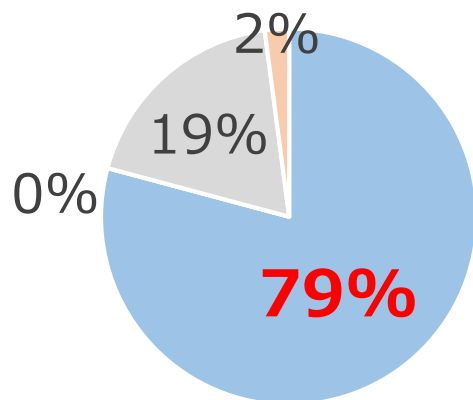


宮若市の市報(広報みやわか)
「宮若生活」2022年11月号
で、**特集記事**を追加掲載して
いただきました



まとめ（アンケート結果）・・・中学生分のみ

1) 放課後に学校で学習塾の授業受講

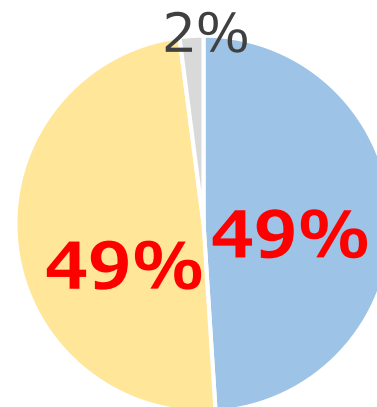


■ 賛成 ■ 反対 ■ どちらでもない ■ 無回答

<賛成の理由>

- ・家で一人で復習するより、授業の方が分かり易い
- ・移動しなくていい
- ・塾に行く時間がない
- ・家の近くに塾がなく困っている

2) 本事業への参加のきっかけ



■ 自分自身の意思 ■ 保護者・先生の勧め ■ 友人の勧め

<自分自身の意思の理由>

- ・数学はどの教科よりも難しい
- ・数学が分からないから
- ・数学の点数を上げるため
- ・学校の授業で分からなくても、2回教わることで分かりそうだから

まとめ（今後の展望）

本事業の目的は、『**子供の選択肢・将来の可能性を広げる**』ことでした。

行政による事業は一定のニーズ・参加者があることが事業実施・継続の大きな要因であり、本事業は民間企業とのタイアップによる初の取組のため、2022年度の試行実施段階は参加費を無償としました。（事業費は全て助成金を活用）

今回、多くの参加者があり、**参加者とその保護者が公教育だけでは得難い民間指導のメリット、有意性を享受**できたことで、**次年度以降の事業継続へのモメンタムを醸成**できたことを踏まえ、市役所で次年度事業の予算化ができました。現在、次年度の実施計画を関係者で協議しています。

本事業の目的を達成するため、関係者と共に引き続き活動を進めて参ります。

末筆となりますが、本事業を採択いただき、過大な助成金をいただいた（一財）九州オープンイノベーションセンターの皆様にご礼申し上げます。





九州大学産学官民連携セミナー
地域政策デザインスクール
Region Policy Design *School*